

働いていた日曹金属株式会社会津工場では、公害問題や経営の合理化によって働く人が少なくなりました。

またそのころまで、日橋川ぞいにある発電所を、見守ったり修理する人たちが、家族といっしょに磐梯町の社宅に住んでいました。しかし、仕事の合理化が進んで、社宅の人はほかのところで仕事をするようになりました。

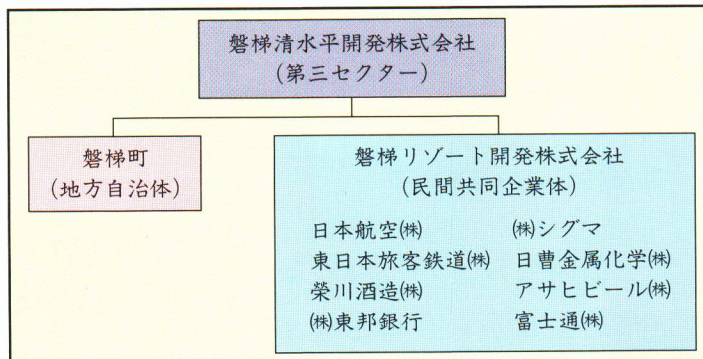
こうして、磐梯町の人口はだんだん少なくなり、商店も減って、町がさびれてしまったのです。

## リゾート計画

清水平のあたりは、磐梯朝日国立公園の中にあり、北の方に磐梯山をはじめ猫魔ヶ岳などの山々が、南の方には猪苗代湖が見えるすばらしく景色のよいところです。

磐梯町では、前のようにぎやかさを取りもどすため、清水平あたりをレクリエーションの場所として、役立てようと考えました。

そのころ福島県では、会津フレッシュリゾート構想を計画し、国から認められました。それで、磐梯町では「磐梯清水平リゾート開発計画」をつくり、大規模な開発をすることになりました。開発される面積は、約1,020ヘクタールで全部完成



するまでには、たくさんのお金と年月がかかります。

磐梯町のカだけではできないので、いろいろな会社がまとまって